

競技上・審判上の注意事項

1、競技上の注意

- ① 本大会は2023年度の公益財団法人「日本バドミントン協会」の定める競技規則及び大会運営規定、並びに公認審判員規定に基づいて競技を運営する。
- ② タイムテーブル1列目は指定コート。2列目以降は流し込み方式で実施する。コールされてから5分以内にコートに入らない場合は「失格」とする場合がある。
- ③ 4年生女子は予選リーグ戦を行い、2リーグの1位同士で決勝戦を行う。
5年生女子は予選リーグ戦を行い、4リーグの1位同士で決勝トーナメント戦を行う。
6年生女子は予選リーグ戦を行い、3リーグの1位同士で決勝リーグ戦を行う。
各学年3位決定戦は行わない。
男子の部は3組でリーグ戦を行う。
- ④ トスの後、試合を開始する前に、3分間以内の練習を認める。（但し初戦のみ）
- ⑤ 選手の荷物（タオル・飲料等）は、主審の側のコートサイド主審の近くに、バッグ等に入れたまま置く事。
- ⑥ プレイヤーが連続して試合をする場合、原則として10分間程度の空き時間を入れる。
- ⑦ 競技中の事故（ケガ）については、応急処置の手配は行うが、以後の責任は負わない。

2、審判上の注意

- ① 21点2ゲーム先取の3ゲームマッチで行い、20点オールになった場合、最大30点まで延長ゲームを行う。但し、試合の進行状況により、大会本部の判断で点数の変更をすることがある。
5年生女子の決勝トーナメント、6年生女子の決勝リーグのみ15点2ゲーム先取の3ゲームマッチで行う。
- ② 先行するサイドが11点になった時に60秒以内、ゲーム間に120秒以内のインターバルを認める。
（15点ゲームの場合は先行するサイドが8点になった時にインターバルを認める）
- ③ サービスの際、シャトル全体が床面から115cm以下でなければならない。審判はポストのテープを判定基準とする。
- ④ 審判員は、敗者が次の試合の線審を、勝者が点数めくりを担当する。主審は本部スタッフが担当する。
主審は審判用紙に、勝者本人のサイン・主審サイン・試合終了時刻を記入し、本部席に持参しチェックを受ける。
- ⑤ アドバイスはインターバル時のみとする。但しコートに入れるのは2名までとする。
- ⑥ 着衣は運動がしやすい服装であれば、公益財団法人「日本バドミントン協会」公認ウェア着用を条件としない。
- ⑦ 試合中のシャトル交換は、主審が必要かどうかを決める。

3、体育館使用上の注意

- ① 大会関係者、出場選手、応援家族含めて駐車場の利用は出来ません。
- ② 下駄箱は応援の方も含めて使用出来ません。靴袋等で各自保管する事。外履き・室内履きの区別を必ず行う事
- ③ 応援は観客席又はフェンスの外側で行う事。
- ④ 会場内での個人的な写真撮影・ビデオ録画は出来ません。
- ⑤ アリーナ内の飲食は禁止する。アリーナ内ではキャップの出来る飲料のみ可とする。
昼食は2階の会議室で行う。
- ⑥ 体育館施設は敷地内全館禁煙です。
- ⑦ ゴミは各自必ず持ち帰る事。
- ⑧ 身の回り品の管理には各自十分注意する事。万一事故があった場合、責任は負わない。
- ⑨ 大会結果等の記録写真はホームページに掲載公開されることがある。